

平成26年5月29日(木)
19時30分発表
国土交通省関東地方整備局
港湾空港部

「沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会」(第3回)の議事の概略について

記者発表資料

本日、委員会終了後の18時00分より議事の概略を報告しました。

なお、配布資料は以下のとおりです。

- ・第3回 沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会 議事の概略

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ
東京都庁記者クラブ、埼玉県政記者クラブ

※本資料は関東地方整備局HPにも掲載されております。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>

問い合わせ先

所属 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部
担当 阿部(あべ)、小笠原(おがさわら)
電話: 045-211-7422
FAX: 045-211-0204

第3回 沖ノ鳥島港湾工事事故原因究明・再発防止検討委員会

議事の概略

1. 日時

平成26年5月29日（木）13:30～17:30

2. 場所

横浜第2合同庁舎 2階共用B会議室

3. 委員（敬称略）

間瀬肇（委員長）、依田照彦、鈴木英之、高橋重雄、小泉哲也

4. 議事

- （1） 第2回委員会の議事概要の確認
- （2） 棧橋の現地調査
- （3） 転覆メカニズムの検討
- （4） 今後の予定

5. 議事概要

- ・ 第2回委員会の主な質問・意見等について確認した。
- ・ 第2回委員会の委員からの質問等に対し、事務局及びJVが回答を行った。
- ・ 棧橋の現地調査の案について、事務局が説明し、調査内容を確認した。
- ・ 委員会からの要請により、委員会として現地調査に立ち会うこととなった。
- ・ 風、波、潮流の自然外力に関する調査結果について、事務局が説明し、質疑を行った。
- ・ 転覆メカニズムを検討するための作用外力の評価方法等について、事務局が説明し、審議した。
- ・ 今後の予定について、事務局が説明し、今後の調査内容等を確認した。
- ・ 委員の指摘、意見等を踏まえ、事務局等において、引き続き転覆メカニズムの検討を行うとともに、中間とりまとめに向けた検討を行い、次回委員会に諮ることとなった。